

都道府県	熊本県	報告者 連絡先	Kumamoto JRAT 事務局 三宮 tel mail jrat_kumamoto@yahoo.co.jp	
団体名称/ 参加団体	熊本災害リハビリテーション推進協議会 Kumamoto JRAT			
実施内容	<input type="checkbox"/> 組織化・連携の 動き	<input checked="" type="checkbox"/> 研修会実施	<input type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/> その他
実施日	平成 27 年 12 月 15 日	実施場所	熊本市医師会館	
概要	<p>【概要】</p> <p>参加者：熊本県内リハ関連職種 91 名</p> <p>(1) 災害リハビリテーション支援のあり方（医師の立場から）</p> <p>講師：熊本機能病院 徳永誠氏</p> <p>(2) 災害時のケアマネジメント</p> <p>講師：熊本県介護支援専門員協会 加来留氏</p> <p>【報告】</p> <p>平成 27 年 12 月 15 日、第 2 回熊本県災害リハビリテーション推進協議会（Kumamoto JRAT）研修会を開催した。今回は大規模災害リハビリテーション支援団体協議会（JRAT）主催の災害リハビリテーションコーディネーター研修会参加者の中から熊本機能病院リハビリテーション部部長の徳永誠氏と熊本県介護支援専門員協会理事長の加来留氏の 2 名が登壇した。</p> <p>徳永誠氏は東日本大震災リハビリテーション支援関連 10 団体（リハ 10）から宮城県石巻市の桃生トレーニングセンターに派遣された医師の中の 1 名。徳永氏は自身の経験を通して、(1) 活動が軌道に乗るまでの初期支援が重要、(2) 組織的・継続的な活動を常に意識する、(3) 現地の状況に合わせ撤退時の状況を考慮することなどを強調した。また、帰熊後は疲労で体調不良になった、被派遣者の所属組織の理解も必要不可欠と締めくくった。</p> <p>加来留氏は基本的支援の考え方は通常のケアマネジメントと変わらないとしたうえで、災害後の特別な状況での実態とニーズの把握、状況によっては介護のトリアージの必要性があることを提言した。また、他の専門職種と協調した支援が重要とした。</p> <p>共通していたことは「職種の専門性に固執せず常に相手の立場に立った支援」「現状を見極め被災者に負担とならない支援」「撤退後のことを考慮し被災地域に合わせた支援」が強調された。</p>			
所感				
今後の課題				
今後の活動予定				
事務局への要望等				